



消費税10%への増税中止を求める意見書採択の請願書

<請願理由>

日頃、住民の福祉と安全のためにご尽力されておられることに心から感謝申し上げます。

私たちの「会」は、消費税導入後に結成され、二十年以上にわたって消費税廃止、増税反対を掲げて運動を進めてきた草の根の市民団体で、全国各地で活動しています。

安倍首相は、消費税10%への増税を2019年10月に実施すると宣言しました。もし実施されれば、国民一人当たり年間約3.6万円の負担増、一世帯では約8万円の負担増になります。これでは家計にも地域経済にも重大な影響を与えます。

すでに2014年4月の消費税8%への増税は、家計と経済に大きな影響を与え、消費は落ち込み、「消費不況」になっています。

私たちは、8%増税後2回目の「生活実態調査」を行いました。8割以上の方が「生活が苦しい」と訴え、「医療費の負担が重い」という方も7割を超えています。そのため買い控えなどでしのいでいる方が多く、「病院や薬の回数を減らした」患者も少なくありません。さらに子どもの貧困も7人に1人という実態があり深刻です。

景気回復の実感がない状況が続く中、私たちは、「消費税10%をきっぱり中止すること」を求めています。

社会保障の充実や財政再建の財源については、「税金の集め方、使い方」を改めれば可能だと考えます。この点では、国民の間で大いに議論するならば、方向が見いだせるものと確信しています。

つきましては、これらの趣旨をご理解いただき、消費税10%中止を求める国に対する意見書を採択されますように請願いたします。

<請願項目>

- 1. 消費税10%を中止するよう意見書を採択し、政府に提出してください。

2018年11月27日

芦屋市議会議長 中島健一 様

請願者

芦屋市朝日ヶ丘町 [Redacted]
消費税をなくす芦屋の会
木野下 章 [Redacted]

紹介議員

平野貞雄

前田辰一

ひらせ 久美子